

環境と調和した社会システムの構築に関する 緊急アピール

今や、世界は温暖化をはじめ資源の枯渇、自然破壊や生態系の危機など地球規模の環境問題に直面している。さらに、百年に一度の世界同時不況の中であって、経済の底割れを防ぎ雇用を確保するとともに、経済構造を改革し新たな成長軌道を描くためのキーワードとして、「環境」がクローズアップされている。

環境問題に対処しつつ、社会・経済の持続的な発展を可能とするためには、地域の資源や活力を十分に活かしながら「経済危機対策」、「緑の経済と社会の変革」に積極的に取り組み、社会システムを環境と調和したものにへと変えていく必要がある。

我々近畿圏は、世界有数の古代湖として名高い琵琶湖、信仰の霊地と崇められる山岳群や良質な水源である森林、豊かな水環境をもたらす河川、瀬戸内海、日本海、太平洋など自然環境に恵まれ、太古からの歴史と文化を誇る地域であるとともに、地球温暖化に中長期的に取り組むための画期的な道筋を示した京都議定書の地である。

また、地球環境を巡る問題を解決するために不可欠で根幹的な産業・技術が集積した地域でもある。

我々は、2013年以降のポスト京都議定書の新たな枠組みを決める年末のコペンハーゲンでの締約国会議を控え、優れた環境や伝統・文化を次世代に引き継ぎ、その恵沢を将来にわたって享受できる自然と共生する社会を実現する崇高な使命を担う責任と能力を自覚し、相互に協働・連携して環境と調和した社会システム構築のため果敢に邁進していくことを宣言する。

平成21年6月2日

近畿ブロック知事会

福井県知事	西川 一誠
三重県知事	野呂 昭彦
滋賀県知事	嘉田由紀子
京都府知事	山田 啓二
大阪府知事	橋下 徹
兵庫県知事	井戸 敏三
奈良県知事	荒井 正吾
和歌山県知事	仁坂 吉伸
徳島県知事	飯泉 嘉門
鳥取県知事	平井 伸治